

# 世田谷介護ネットニュース

## 第2号

発行日：平成19年9月13日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区社会福祉事業団

連絡先：東京都世田谷区世田谷1-23-2

電話：(03)5450-8575

### 第1回全体会が開催されました

世田谷区介護サービスネットワーク第一回全体会が7月20日に世田谷区民会館集会所で開催されました。世田谷区介護サービスネットワーク加盟事業所から120人を超える出席がありました。

テーマは「介護保険でできること、できないこと」として、区からの情報提供のあと、事前に各事業所から寄せられた介護保険制度に関する質問や悩みに対して介護保険課の各担当から回答をいただきました。その後、職種ごとに分かれたグループディスカッションで区の回答内容の確認、参加者の考え方や回答の対象にならなかった問題などについて活発な議論を行いました。

昨年の介護保険法改正以降、同居家族がいる場合の生活援助や外出介助などに関して行政の解釈が少しずつ変わっ

ています。利用者本位のサービスを目指す事業者と介護職は、制度と利用者本位のサービスの間で悩んでいます。

いま大切なのは、利用者の自立支援の観点からサービスに関わるケアマネージャーとそれぞれの介護事業者が連携を密にして、各サービスの必要性をケアプランや訪問介護計画書などに記載し、調査や監査があっても合理的に説明できるようにすることだというのが全体を通した結論でした。

今回の区からの回答については一般的すぎて参考にならなかったとの意見もありましたが、国の制度である介護保険法の運用において、区に与えられた裁量の幅がかなり狭いことが確認できた全体会でもありました。

### みんなでスキルを上げませんか!!! (世田谷区介護サービスネットワークの活動)

それぞれのグループでは、みんなで知恵を出し合い、困っていること、悩んでいることを解決するために、研修やアンケートなどの方法を考え、実施しています。

そんな仲間に皆さんどうぞ参加してください。お待ちしております。

#### 1 研修グループ

企画から運営までにぎやかに議論をしながら、いま介護の現場に必要な研修を提供しています。

#### 2 サービスの質を考える会

利用者アンケートを行い、サービスの質向上のために必要な利用者の声をまとめました。

#### 3 感染症グループ

介護の現場でしばしば問題になる感染症について学習し、研修会も開催しています。

#### 4 STS ネット (サービス提供責任者ネットワーク)

訪問介護の要といえるサービス提供責任者の集まりです。サービスの質向上のための研修も企画します。

#### 5 通所連絡会

通所系の事業所の連絡会です。通所系サービスの共通の問題について議論し、学習会を開催します。

#### 6 在宅介護経営部会

事業所の経営者や管理者の会です。主として事業経営、運営上の問題について議論し、情報の共有を目指しています。



### 世田谷区介護サービスネットワーク入会のご案内

入会資格：世田谷区民に介護サービスを提供する介護保険事業者（正会員）又は関連サービスを提供する事業者（準会員）

新規ご入会の場合 入会金 5,000円

(正会員 準会員とも) 年会費 5,000円

継続の場合 年会費 5,000円

詳しい問い合わせは、世田谷区社会福祉事業団人材育成・研修センターまで。電話：03(5450)8575、FAX：03(5450)8237

ホームページ： [www.setagayaj.or.jp/sknet.htm](http://www.setagayaj.or.jp/sknet.htm)

#### 入会のメリット

- 1) 事業所間の情報交換・共有ができます。
- 2) これからの介護事業所間連携を深める上で必要な「顔の見える関係」をつくることができます。
- 3) 行政からの情報をいち早く入手できます。
- 4) 現職に即した各種研修に職員を安価に派遣できます。などなど。

会員数：226（平成19年7月18日現在）

## 連載

### 認知症になっても『人として生きる』ために(1)

グループホームかたらい副ホーム長 市川裕太

この5回シリーズでは、私自身が認知症の人と日々関わる中で「これは!？」と感じるところを挙げて皆さんにお伝えしたいと思います。

認知症介護、認知症支援、生活支援・・・最近の認知症の人へのケアには様々な言葉が使われています。しかし、ケア以前にまず私たちが考えなければならないことは、認知症がある・ないに関わらず、人は、どんな状態であっても、どんな状態になったとしても「人」であるということです。

共通する「認知症」という病気を抱えているとしても、実はその人が生きていて培ってきた性格や送ってきた人生、または障害される脳の変性部位によってもその症状の出方は異なります。それと同時に例えば「グループホーム」という共通のサービスがあっても、その中身は暮らす人、支援する人によっても様々であります。私たちの人生は生まれ育った環境や出会う人などでいくらでも人生が変化すると同じように、



認知症であっても、そこで関わる人や生活する環境によってもその人の生きる可能性はいくらでも変化するということです。

認知症になった誰もが自分から望んで認知症になった人はいないでしょう。しかも例えば施設(グループホームも含む)では、入居しているほとんどの人は自分から望んで施設に入居した人はいないので、そうした中でも認知症の正しい理解ができず職員が虐待をしたり、まるで人権や尊厳がないような対応をしているケースも少なくありません。私たち介護者は常に、認知症になっても「人として生きる」ことを忘れることなく支えなければなりません。これは人として当たり前のことではないでしょうか。

生活環境がどうだから、その人がどんな病気だから・・・では決してないのではないかと私は思います。

「認知症になっても『人として生きる』」とはどのようなことなのでしょう。

残り4回は私自身の認知症の人との関わりの中で感じる事例を通してこのテーマについて考えていきたいと思いません。



### この人とこの活動(第1回)

#### 藤田和丸医師と「在宅ケアを語る会」

今回は玉川田園調布で医院を開業している藤田医師を紹介します。

藤田医師は、地域密着医療を唱える鎌田實医師が院長を務めていた諏訪中央病院などに勤めた後、先代の創設した現在の藤田医院を引き継ぎ、在宅医療に力を入れた診療活動をしています。

藤田医師は、2000年に介護保険制度が開始してからケアマネージャーとの連携のむずかしさに気づきました。連携をやすくするためには、「顔の見える関係」が必要と考え、「在宅ケアを語る会」を発足させました。それ以来、毎月1回デイホーム玉川田園調布を借りて、医療や介護の現場の人を講師として呼んだ勉強会を開催しています。

世話人会が運営し、在宅ケアに係わる多職種から毎回30人を超える参加者があります。この会をつうじて、「顔の見える関係」が着実に拡大しています。

会は原則として第3火曜日に開催されます。4ページに定例会の予定が掲載してあります。

### 地域の交流あれこれ

#### 「からすネット」

からすネットは、烏山地域で展開する介護事業者のネットワークです。事業者同士が交流し、情報交換をしたり、勉強するために設立されました。

定例会は、一ヶ月ごとに担当幹事が交代し、それぞれが特色のある企画をしています。

年末、年始には飲み会にて、和気藹々と交流会を開催しています。困ったときに顔見知りの仲間に気軽に相談できる楽しい集まりです。

地域に新設の施設が立ち上がったときには、みんなで内覧させてもらうほか、他事業所との比較もでき、いい事業所を見習って事業を改善することができます。地域の事業者のご参加をお待ちしております。

連絡先：ライフサポートやすらぎ烏山

宮川 電話：5316-9042 (9月の幹事)



## 世田谷区からのお知らせ

### 1 健康保険料や厚生年金保険料などの滞納が事業者指定更新等の欠格事由に！

平成19年7月9日付けで「国民年金事業等の運営の改善のための国民年金法等の一部を改正する法律(平成19年法律第110号)」が公布されました。

この法律により、介護保険法の一部が改正されています。

<具体的な改正内容>

介護保険法における介護サービス事業者の指定及び許可の欠格事由として、指定等の申請者等が社会

保険料等について、当該申請をした日の前日までに滞納処分を受け、かつ、当該処分を受けた日から正当な理由なく3月以上の期間にわたり、当該処分を受けた日以降に納付期限の到来した社会保険料等のすべてを引き続き滞納していることを追加する等としたもの。

<施行日>

平成21年4月1日



### 2 介護保険情報を迅速にお知らせする仕組みを検討しています

世田谷区では、介護保険制度に関する情報を、区内介護事業所・施設の皆さまに迅速にお伝えする方法として、FAXと電子メールによる「(仮称)世田谷区介護保険FAX情報便」の発行を準備しています。



この「情報便」は、区内介護事業所・施設(希望登録制)に向けて、月1回以上、国や都、区の介護

保険情報をFAX又は電子メールでお届けするものです。

また、「情報便」に掲載できない詳細情報は、世田谷区介護保険ホームページで確認できるようにします。

発行準備ができましたら、世田谷区介護保険ホームページなどでお知らせします。



### 3 介護保険が使えるホームヘルプサービスは？

平成19年7月20日付けでちらしを作成し、介護ネットワークの会場で配布いたしました。

ケアマネジャー、あんしんすこやかセンター、訪問介護事業所が、被保険者の皆様にご説明する時ご利用ください。

保健福祉課、あんしんすこやかセンター、介護保険課においてあります。また、世田谷区介護保険ホームページ 事業者向け 最新情報でダウンロードできます。



### 4 ホームヘルパー業務のしおり

業務のしおりを改定しました。平成19年7月20日付けの介護ネットワークの会場で配布いたしました。

介護保険の訪問介護に携わるホームヘルパーの皆様、活用してください。

保健福祉課、あんしんすこやかセンター、介護保険課においてあります。

また、世田谷区介護保険ホームページ 事業者向け 最新情報でダウンロードできます。



## リレー随想

株式会社チームサカタ ホームヘルプ事業部・阪田祐治

わたしはこの仕事について、まだ8年しか経っていないが、今、思い起こすと、[介護・介助される側]の方から随分といろいろなものをいただいた。

90歳代の認知症のある男性からは、『君になにかあった時は私は何時でも命を懸けて力になる』と、勇気をもらい

又、重度脳性マヒの当時40歳代男性からは『生きていれば、いいことは必ずある。絶対にある』と愛をもらった。沢山の人々から『笑顔』をもらった。プロなのに、教わり・学び・ありがとうといわれる素晴らしい仕事に就いていることをわたしは誇りに思う。

次回は“介護けやき”の武井様、お願い致します。



## 研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの研修】

1 感染症研修 10月16日(火)

梅が丘パークホール 18:30~20:30

2 明日から役立つヘルパー研修

11月14日(水)「排泄のメカニズム」(仮)

上北沢ホーム 18:30~20:30

【世田谷区社会福祉事業団の研修】

1 ケアマネ現任研修

10月10日(水) 13:00~17:00

世田谷区民会館集会所

2 サービス提供責任者研修

10月11日(木) 12日(金)

3 新任職員研修 11月19日(月)

4 中堅職員研修 12月5日(水)

5 介護福祉士筆記試験対策講座 11月3日(土)~

2,3,4,5は事業団研修室で開催。



6 講演会「死体は語る(仮題)」

11月30日(金) 18:00~

玉川区民会館ホール

7 心の相談:月2回、仕事の相談:月1回

印の問い合わせ先は

世田谷区福祉人材育成・研修センター 電話:5450-8575

【総合福祉センター研修】

「高齢難聴の理解とコミュニケーション」

9月20日(木) 13:30-16:00

総合福祉センター

問い合わせ先:5376-3414

【在宅ケアを語る会】

定例会の予定(第3火曜日)

9月18日(火)、10月16日(火)、11月20日(火)

午後7時~9時

デイホーム玉川田園調布

問い合わせ先:3721-6938(藤田医院)

## 介護食豆知識(第1回)

### 「簡単調理法」

総合福祉ツクイ世田谷 波木直道

介護を楽にする介護食、また誰でも簡単に作れベテランの主婦顔負けの味が出せません。私がこの調理法に遭遇したのは当社の専門的配慮のある食事作りの研修に参加、その時の担当講師の先生が何人かのスタッフと研究・考案し全国にひろめつつ講習しておりますとお話でした。台所を汚さずお金もかからずヘルシーで安全で見た目すばらしくゴミも出ず水もあまり使用せず特別な調理器具もいらずそこそこ出来ることに感銘いたし、今回はぜひ読者の皆様にもこの手法にて糖尿食をと考えました。



糖尿病の基本は食事に始まり食事に終わると言われております。食事は特別な事をする訳ではなく又逆にこれを食べればよくなると言うことではなく適正なエネルギー量をとる事、栄養のバラ

ンスよく食べることと健康維持の為に良いと言われることを実践することです。そこで前文でふれた調理法にて簡単レシピを紹介いたします。

「パック焼きそば」従来のフライパンや油等を使用した高カロリーの焼きそばではなくとも低カロリーでヘルシーです。麺は二食分入り蒸し焼きそば200円程度です。ミックスもやし150グラム、ベーコン40グラム、材料は以上です。問題は容器です。火は使いません。0.01ミリのポリ袋(スーパーの袋)の中に麺ともやしとベーコンを入れ付属のソースを掛けるようにいれて袋内の空気を抜き袋の上のほうで結びます。一度沸騰した保温98度のポットの中で20分待つだけで良い。その間に介護に専念したのち、取り出して袋を上下に振って麺をなじませお皿に盛り付け青海苔紅しょうが等トッピングして出来上がりです。あとかたづけはポリ袋はゴミ袋にお皿と箸のみにて終了です。その他この方法で沢山応用ができます。



### 編集後記

暑い夏が過ぎ、秋の気配が感じられます。疲れの出やすい今こそ健康に気をつけて元気に頑張りましょう。(鈴井) この夏は暑かった! やっ

と秋風が吹くようになり少々ホッとしています。が、ご利用者様にとって季節の変わり目は体調維持が大変。(辻本) 世田谷介護ネットのことを皆さまに知っていただき、一人でも多くの仲間が

増えることを切望しています。(宮川)

### 問い合わせ先

世田谷区社会福祉事業団人材育成・研修センター  
電話:03(5450)8575、FAX:03(5450)8237